

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

グローバル社会で活躍する人財を育成するリーディング校として、志を抱き夢に挑戦するために確かな学力を身につけ、文武両道を具現化する学校
○大学進学へのニーズに応えた拠点校として、理数・国際教育の充実を図り、地域そして世界のリーダーとなる人財を育成
○地元企業、近隣に位置する医療施設、鹿嶋市等との連携により、科学技術や国際社会等に対する探究心を養成

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- 主体的な知識や技能の習得
○物事の論理的な解決力習得
○メリハリ(勉強・行事・部活)をもち、何事にも打ち込む力の習得
○地域を担うリーダー性の習得
○根拠の下、自分の意見を持ち、互いに伝え合う力の習得

総合的な探究の時間の学習評価

- 高い志と自立心, 思いやりの心・情報収集・整理・分析する力
○思考力・判断力・表現力
○主体性を持って協働して学ぶ態度
○確かな学力
○問題点を自ら発見し、解決できる力
○基本的生活習慣の確立
○主体的に学習に取り組む態度
○新しい時代を生き抜く力

生徒の実態

- ◎規範意識・基本的生活習慣は概ね確立
◎部活動加入者が多い
○真面目に従順だが、自分で考えて行動する力が不足
○コミュニケーション能力が不足→自己開示欠如
○グループワーク力不足,自己主張力不足
○向上意欲不足(ある程度のラインで満足しがち)
○自己肯定感が不足
○主体的に学ぶ力が不足
○各中学校の中下位層が中心。家庭学習の習慣が未確立
○目標が不透明

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- 教育相談部と連携
○発達段階に即した指導の実践
○定期的な面談の実施
○校務分掌・学年・教科枠を超えた組織的指導の実践
○習熟度別な学習,少人数教育の実践
○安心して自分の考えを言える学びの雰囲気の醸成

目指す生徒の姿

- 文武芸を頑張る
○地域で協働的にリーダー的実行力をもつ
○グローバル社会で活躍する
○何事にも挑戦できる姿勢
○科目特性に応じた語彙の概念と、実験結果からデータを論理的に理解し、説明ができる。
○思いやりの精神
○主体性・積極性
○語学力
○情報編集能力
○協調性
○自らの課題と目標を設定し、自己実現に向けて主体的に取り組むことができる。

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

- 論理的思考(ロジカルシンキング)
○ダイバシティ(多様性)
○基礎・基本となる知識・技能
○情報活用能力と語学力
○課題解決を目指すために必要な思考力・判断力・表現力
○コミュニケーション能力
○自ら考える力

学習活動、指導方法等

- PDCAを繰り返す
○演習形態を積極的に取り入れ、個々の目標を実現させる
○自主・自律的に学ぶ指導体制づくり(アクティブ・ラーニング・グループ・ペア学習)
○ICTを広く活用した主体的・対話的で深い学びの教育を実践
○自主学習ノート等を活用した学習習慣の定着
○各教科別の探求的な学習内容の充実
○言語活動の充実と根拠を下に批判的思考力の育成
○プレゼンテーション・インタビュー形式を導入し言葉を広く活用できる環境の創設
○「SDGs(持続可能な開発目標)」を考え、目的を明確化した教育の実践
○1クラスを2分割・選択授業等の制度などを活用し、少人数指導の実践

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- グランドデザインの共有。カリキュラムデザイン・行事・特別活動を含めた総合的指導計画、一局焦点化した生徒活動の業務分担、インフラした教育業務の過重防止、目指すマネジメント、家庭・地域と協働した業務負担軽減
○アウトプット(発言する機会や書いた文章を見せる機会)増やしを定期的実施
○学校組織として動く体制づくり(マンパワーに頼りすぎず、バランス良い分業化)
○学校生活環境の整備、ICT機器を活用した学習指導体制の構築
○一人一人の授業への意識改善、最新の教育情報の取得
○授業に関する校内研修の定期的な実施(研究授業・公開授業等) ○相互授業参観をととした授業力向上
○職員研修への積極的参加
○教材研究をする時間確保
○外部講師の活用推進
○学校HPや各種便りによる情報発信と、地域からの声の収集化
※保護者からの理解と協力が必須=①PTA総会 ②次年度教育課程説明会等の出席率向上
○一人で業務等を抱え込まない組織としての指導体制構築
○学校全体としての組織的かつ計画的な取り組み、教師間での実践事例の共有及び蓄積
○学年間の連携(進路学習指導部)により、進路指導体制の構築
○学年・教科会議の充実
○教科・担任間連絡の密接化を推進(以後、家庭及び地域連携等の創設。)
○教員相互の研修機会の増設
○研修内容や指導スキルを共有できる機会の設定
○外部の研修に参加しやすい環境の推進
○いじめ・不登校事態を引き起こさない学年及び学級経営体制の構築
○学校・家庭・地域間の連携(協議会を設立し定期的・継続的な協議会の実施)